

令和7年度第1回山縣市公共交通会議 議事録

日 時 令和7年6月25日（水）午前10時00分～

場 所 山縣市役所 3階 大会議室

会長挨拶

○会長：新しい委員さんが入られたということで、今年度もよろしくお願いします。昨年度に地域公共交通計画を策定し、今年で計画期間の2年目となります。今年度から、運転手の確保が困難ということで、神崎山県 BT 線の運行主体が岐阜バスから移行、市街地巡回線も見直しているところです。地域公共交通のあり方は市の中でも重要な施策の1つでありますので、今後のあり方について皆様の様々な立場から忌憚のない意見をお願いします。

協議事項1 令和6年度事業報告について

○事務局：（資料1の説明）

○会長：この件について、ご賛同いただけますか。

○委員：（異議なし）

協議事項2 令和6年度決算について

○事務局：（資料2の説明）

○B 副会長：回数券は岐阜バスで利用でき、学生のみが無制限に購入できるということでしょうか。また、高架下の駐車場について、駐車場の契約台数と駐車した後の動向が分かれば教えてください。

○事務局：市内の自主運行バスであれば利用でき、学生証を提示して購入する形になります。駐車場台数は長期的（2日以上連続）に利用する場合のみ把握しており、日中に何台停まっているかはカウントしていません。地域公共交通計画の中に駐車台数の項目がありますが、特定の日に何台停まっているかを記録しているため、長期的な記録はしていません。

○会長：この件について、ご賛同いただけますか。

○委員：（異議なし）

協議事項 3 令和7年度事業計画（案）について

○事務局：（資料3の説明）

○会長：この件について、ご賛同いただけますか。

○委員：（異議なし）

協議事項 4 令和7年度予算（案）について

○事務局：（資料4の説明）

○会長：この件について、ご賛同いただけますか。

○委員：（異議なし）

協議事項 5 令和8年度地域公共交通確保維持事業に係る山口市地域公共交通計画の別紙（案）について

○事務局：（資料5の説明）

○会長：この件についてご賛同いただけますか。

○委員：（異議なし）

報告事項 1 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果

○事務局：（資料6の説明）

○委員：（質問なし）

報告事項 2 令和7年4月1日路線再編について

○事務局：（資料7の説明）

○委員：（質問なし）

その他

○事務局：次回の開催について、令和8年1月中旬を予定しています。

○A 委員：公共交通会議で色々な自治体に関わっていますが、自治体の中にはガイドブック中に運転手不足の問題や運転手の求人を入れていただいているところもあ

ります。今後ガイドブックを新しく作られる際は、公共交通の現状を住民への周知するツールとしても活用していただければと思います。

○A 副会長：パークアンドライドについて、中心に動いている部署はどこになるのでしょうか。「カーボン・マイナス・シティ」を宣言した自治体は全国では珍しいです。他都市にはない政策のため、是非とも宣伝を行っていただければと思います。ただ宣伝するだけでなく、パークアンドライドで二酸化炭素排出量が減ったという結果があれば、施策が実施されていると認識されると思います。今年度の事業内容でイベントの開催とありますが、前年度はイベントの開催をしましたか。運転手の募集やバス協会の情報等があると市民に興味を持ってもらえると思います。

○事務局：栗まつりのイベントと連携した企画を行いました。二酸化炭素排出量の関係は主に環境政策室が実施しています。次回の会議には排出量関係の報告もできるよう進めていきたいと思います。

○B 副会長：アンケートを実施される際、QRコードを利用したWEBアンケートができると簡単に答えられるので良いと思いました。

○B 委員：こども会で岐阜市の自動運転バスに乗ろうという企画を実施しましたところ、1日で申込数の半分以上の応募がありました。子どもたちはバスへの関心が高いと思います。子供たちの関心を高めることで、大人の方々にも関心を高めていけたらと思います。今年の企画が上手くいけば、次回からハーバスやデマンドバスに乗ろうという企画を出していきたいと思います。

○会長：ayuca はいつまで使えるのでしょうか。

○C 委員：現時点では未定です。

○D 委員：山県市のバスは観光客の利用は想定しているのでしょうか。バスは地元の足であるのは前提だと思いますが、北山エリアでも公共交通があると利用してもらえるだろうと感じます。難しいかと思いますが食事と観光地を繋ぐように整備すれば、利用者数の増加や観光の向上になると思います。観光分野にも目を向けてもらえればと思います。

○会長：北山エリアは何とかしたいと思っています。駐車場や道が狭いなど様々な課題を把握しているので、色々な対策を模索していきたいと思います。

○B 副会長：昨年度はバス乗り方教室の応募がなかったとのことで、残念だと思います。

した。伊自良大桑線の利用者がコロナ禍の影響から回復しているものの減少傾向にあるため、今後のアンケートで地元の方の意見を聴取して、改善に向けての議論をしたいと考えています。岐阜市では、すべての小学校に向けて乗車体験をやっていますが、子どもたちが身近に感じるところから始めることもとても重要だと思います。観光との連携という話もありましたが、観光資源があるところでは周りの方々と連携して公共交通を考えることも重要だと思います。

○A 副会長：バスは市民の足として重要な公共交通だと思います。バス停や路線の提案が多くありますが、提案した方が乗ってもらってない現状があります。これからの少子化高齢化にとってバスは必要なものだと思います。今後も委員の皆様には忌憚のない意見をいただければと思います。

以上

